

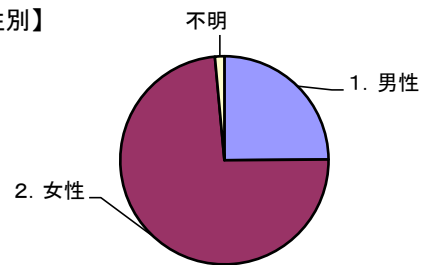
「滋賀の医療福祉を守り育てる」県民フォーラム 参加者アンケート結果（H25）

<フォーラム参加者数> 385人
 <アンケート回答者数> 205人（回収率：53.2%）

問1 あなたの性別は？

	人数	率
1. 男性	51	24.9%
2. 女性	151	73.7%
不明	3	1.5%
合計	205	100.0%

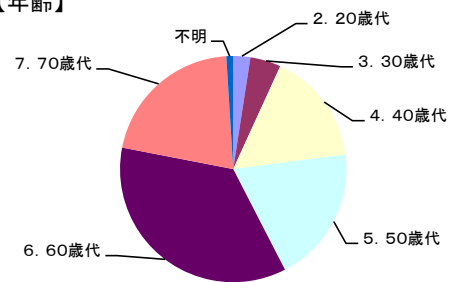
【性別】



問2 あなたの年齢は？

	人数	率
1. 20歳代未満	0	0.0%
2. 20歳代	5	2.4%
3. 30歳代	9	4.4%
4. 40歳代	33	16.1%
5. 50歳代	40	19.5%
6. 60歳代	73	35.6%
7. 70歳代	43	21.0%
不明	2	1.0%
合計	205	100.0%

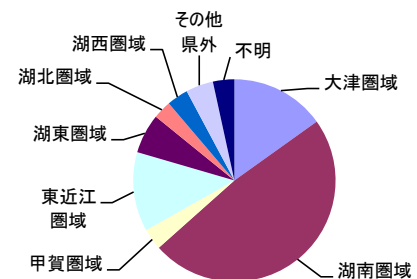
【年齢】



問3 あなたのお住まいの地域は？

	人数	率
1. 大津圏域	31	15.1%
2. 湖南圏域	99	48.3%
3. 甲賀圏域	7	3.4%
4. 東近江圏域	26	12.7%
5. 湖東圏域	13	6.3%
6. 湖北圏域	6	2.9%
7. 湖西圏域	7	3.4%
8. その他・県外	9	4.4%
不明	7	3.4%
合計	205	100.0%

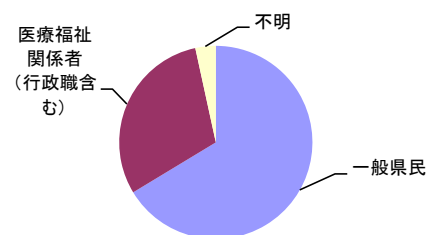
【居住地域】



問4 あなたの職種は？

	人数	率
1. 一般県民	136	66%
2. 医療福祉関係者（行政職含む）	62	30%
不明	7	3%
合計	205	100.0%

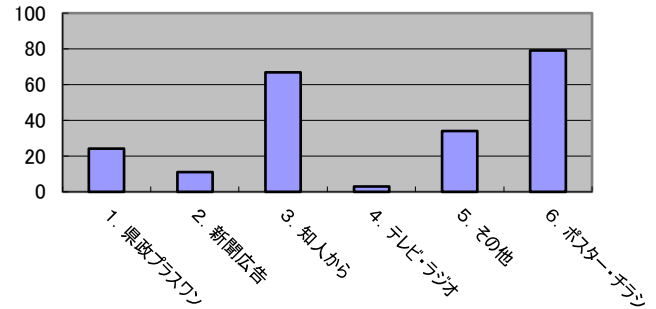
【職種】



問5 フォーラムの開催を何でお知りになりましたか？（複数回答）

	人数
1. 県政プラスワン	24
2. 新聞広告	11
3. 知人から	67
4. テレビ・ラジオ	3
5. その他	34
6. ポスター・チラシ	79

【フォーラム開催情報の入手方法】

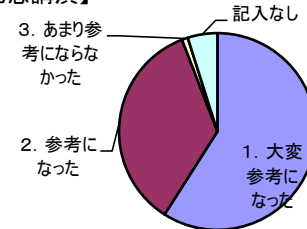


問6 本日の内容はいかがでしたか？

<記念講演>

	人数	率
1. 大変参考になった	121	59.0%
2. 参考になった	72	35.1%
3. あまり参考にならなかった	2	1.0%
記入なし	10	4.9%
合計	205	100.0%

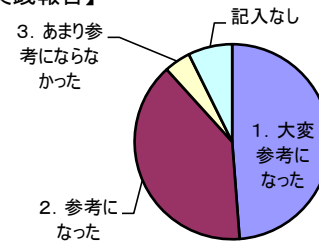
【記念講演】



<実践報告>

	人数	率
1. 大変参考になった	100	48.8%
2. 参考になった	81	39.5%
3. あまり参考にならなかった	9	4.4%
記入なし	15	7.3%
合計	205	100.0%

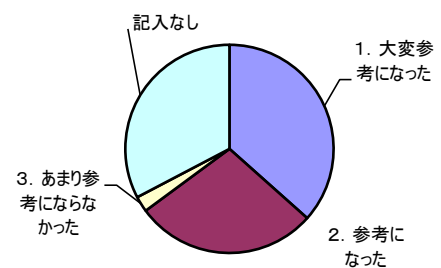
【実践報告】



<看取り劇場>

	人数	率
1. 大変参考になった	75	36.6%
2. 参考になった	58	28.3%
3. あまり参考にならなかった	5	2.4%
記入なし	67	32.7%
合計	205	100.0%

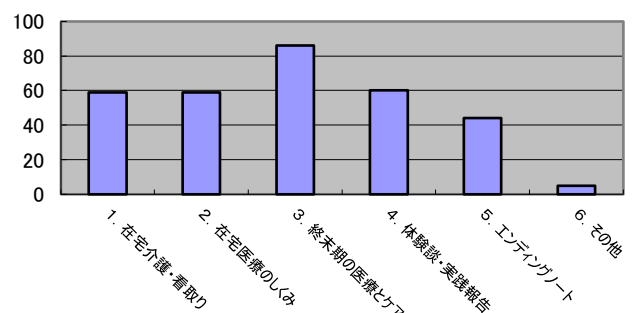
【看取り劇場】



問7 今後どのような話を聞きたいですか？（複数回答）

1. 在宅介護・看取り	59
2. 在宅医療のしくみ	59
3. 終末期の医療とケア	86
4. 体験談・実践報告	60
5. エンディングノート	44
6. その他	5

【今後どのような話を聞きたいか】



※問5 フォーラム開催情報の入手について

(5. その他 の内訳)

Facebook	1
家族（娘、夫の声掛け）	3
知人	2
栗東市介護者の会	2
百才体操	1
地域の回覧物	1
市の広報（野洲市）	2
地域包括支援センター	1
職場	2
県健康推進員連絡協議会	1
精神保健福祉士会研修	1
研修会	1
ボランティアサービス	1
県からの案内	3
県(高島)保健所	1
事業所への案内	1
FAX	1
宣伝を受けた	1
送付されてきた	1
計	27

(6. ポスター・ちらしの入手元)

行政への案内	3
職場	10
事業所	1
認知症の家族の会	2
栗東さきら	1
米原市米の産業文化館	1
きらら会遺族	1
健康推進員へのPR	1
介護者の会	2
生き方カフェ	1
百才体操・きらくサロン	2
老人会	1
民生委員会	2
病院、湖東記念HP・成人病C	4
かかりつけの医院、田代医院	3
薬局・調剤薬局、丸山薬局	3
図書館、野洲・能登川図書館	3
野洲文化ホール	1
野洲市健康福祉センター	1
野洲市地域包括支援センター	1
守山市地域包括支援センター	1
瀬田支所	1
団体に配布	1
知人からもらった	1
彦根市看取り介護フォーラム	2
野洲市広報	1
県庁広報	1
県の会議	1
ポスター	1
計	54

問8 フォーラムに参加された感想など

実際に体験された城戸さんと古川さんのお話は、たいへん勉強になりました。谷口さんがチームとして、デイケアとのつながりを作られたことも、素晴らしいと思いました。劇もたいへんよかったです。ありがとうございました。

ようこそ野洲へお越し下さいました。父子家庭（母を37歳で失う、小4のとき）で育ったうえ、20代前半に、就活を犠牲にしてまでやっていた父（身障者1種2級・頸骨摩耗による起立困難→胃がん（再発）で2000年に58歳で他界）の見舞一介護の時期を思い出しながら、真亜子さんのお話を聞いていました。非常に参考になり感謝申し上げます。追伸、油絵全くの未経験者ながら、趣味DO楽「油絵って楽しい！」をテキスト購入のうえ楽しく拝見させていただきました。本当にありがとうございました。

具体的な内容で参考になりました。

盛り沢山の興味ある内容で、興味深く良かった。知事さんご苦労様でした。

つづけて下さい。

城戸さんの話には、隣場感があり、涙の出る程勇気をいただきました。ありがとうございました。

皆様いろいろご苦労されている話、よくわかりました。生とは？死とは？永遠のテーマです。「生老病死」の受けとめ方・心の持ち方を自ら決めることが何よりと考えます。

知名度の高い方の体験談は、他の人にも伝えやすいので、家族の話し合いにつながりそうです。

今後も参加させていただきます。

城戸さんのお話、色々な場面でよく考えておられると感心・感動致しました。感謝の心で介護しなければと思いました。在宅看取りについては、私は経験がありませんので、報告等で勉強しなければと深く思いました。本日は、ありがと。

自分自身の今後も含め、自身の家族との今後の、私なり（70才）・家族なり（65才）の在り方・自身のなすべきこと等、大へん参考になりました。今後も機会毎に勉強したいと思います。関係者の皆様、有難うございました。特に、嘉田知事さんありがとう！！

私は滋賀県社会福祉協議会が運営する、レイカティア大学の学生です。健康づくり学科に在籍しておりますが、12月より課題活動として数人のグループで地域活動を始めます。テーマは健康についてですが、活動はこれからです。詳細は、これからつめて行きますが、事前の予備知識として、本日参加させていただきました。大変素晴らしい内容でした。特に、城戸真亜子さんのお話は、感動しました。もしかしたら、活動中にご訪問させて頂きお話をお伺いする事があるかもしれないので、その時は、よろしくお願ひいたします。

実践報告で、患者がお礼を言って介護の方が元気が出ると話されていたが、言えない患者さんもいらしゃると思う。今日、考えた事が現実の場で、実行できるかどうか？

役所でないユニークな講義で大変参考になりました。那須部長・渡辺会長頑張ってください。

明日は我が身（される方又する方）。近年、兄弟が在宅医療を受けなくなったことから（ガン）。

在宅介護が安心出来るよう、ご支援のほど、よろしくお願い致します。

こう云催しを知る機会が無いのが残念。今回はたまたま「びわこTV」のお知らせで知って参加。

古川さんは、かつて同好会で一緒だった人。母の面倒をみるためやめられたが、在宅介護をこんだけやられたことに、心をうたれました。

近くで実施され気楽に参加しました。しかし、野洲市内の催しと同じ日を行われ、参加される人があり、調整していただき、日程等の話し合っていたかと思ひます。（本日、コミセンきたのと重複）楽しい一日をすごさせていただきました。ありがとうございました。

在宅での医療・介護・看取りの実践報告は、もう少し具体的な話、何才で発症→医療内容→入院はどの科で、何の治療、投薬の経緯等々。チーム医療のチームの作り方、又そのポイントはどこに有るのか等が、知りたかった。サービスの連携の誰がキーパーソンなのか？（ケアマネ・医者・主治医・訪問看護・デイサービス）

記念講演は、非常によかったです。話の内容も興味深く、きかせて頂きました。ありがとうございました。

実践報告のあと退場。今から7年前にガン発症→昨年に死去。その間、母は要介護4→要介護5→今年死（100歳）。特にこの間、私が介護・看病して苦労しました。このような体験された方への講演を、お願ひします。

介護制度の説明・しくみ・活動・負担等。

看取り劇場は、大変わかりやすく、大変印象深いものでした。

一般男性

今後の自分を見つめなおす事に、とても参考になった。

劇がおもしろかったです。

城戸さんの講演、本当に素晴らしかったと共に、気づきも知りました。誰しも迎えるエンディング・介護・老い、たくさんの課題に対して本日はとても勉強しました。今後も期待いたします。

とても参考になりました。ありがとうございます。

今はまだ、自分の両親も主人の両親も健康ですが、いずれ直面するであろう介護・看取りについて、多くのことを学ぶことができました。とても有意義なフォーラムだったと思います。

介護保険の使い方、週4日使うだったが、使用したら費用が掛かる等、話は聞くが、実際にはどうなるのか？年金でまかなえるのか？子供達は生活があり。仕事があり、家庭での看護は難しい。

介護される側、介護する側、両方の立場から、話を聞かせていただき、すごく参考になりました。

介護するということは、老いること。最期を迎え死んでいく自身に勉強になることだと、更に思った。今后「申し訳ない」と思う要介護者になっても、悪く考えなくてもよいと、安心できた。元気な今のうちに、心して介護して勉強しようと決意した。

講演会、実践報告、劇と非常に盛りだくさんの内容でとても為になりました。

城戸さんの介護の講演、大変参考になりました。

いつも感謝の気持ちで、やさしく接することが大切だと思います。

記念講演も看取り劇場も大変参考になりました。看取り劇場は、さながら吉本新喜劇を観ているような軽妙なかけ合いで、内容は重くて濃いのに、楽しませていただきました。ありがとうございました。

知事や部長・前部長・医師会会長さんなどのご出演の「看取り劇場」どうも皆様お疲れ様でした。楽しく拝見いたしました。城戸真亜子さんのお話、とても参考になりました。真亜子さんらしいお話にジンといたしました。

高齢の母が、となりの家で一人暮らしをしているので、大変参考になりました。城戸さんの講演は介護のお話なのに、かわいい絵と話し方にむしろ楽しく聞くことができましたし、在宅看取りのことも知りました。ありがとうございました。看取り劇場も楽しくエンディングノートの必要を感じました。

自分のエンディングノートをどのようにと日頃から考える上で、いろいろ見たり、聞いたりして、決めていきたい。

夫婦の将来迎える最期を話し合う必要性を感じました。

城戸真亜子さんの講演は、大変すばらしかったです。ほんわかと暖かみのある絵が心にしみ、すんなりと入りました。今の私にはピッタリの内容で共感することが多く、自分に対する反省等に……。涙があふれました。私も在宅看取りしたいと考えているので、とても参考になりました。看取り劇場も楽しく勉強できました。

私も84才になり、明日でもどうなるかわからない今日この頃です。親身に聞かせてもらいました。

在宅での看取りや介護には、専門職だけでなく家族、本人も含めた連携が大切だということを学んだ。エンディングノートの存在を初めて知りました。

娘に誘われて、参加させて頂きました。私も母の介護を4年間してた事を思い出しながら、お話を聞かせて頂きました。涙がとまりませんでした。私もいつかこんな日を迎えるんです。感謝できるかわいいおばあちゃんになりたいと思いました。ありがとうございました。

自分の体験を思い出しました。城戸さんの様におだやかに親を看ることは出来なかったが、数年が過ぎて来て、今やっといろいろ有ったことを思い出しながら、きかせてもらった。

自分のエンディングノートを作りたいと思った。

在宅介護の仕組みを地域に啓発せねばと思いました。看取り劇場とてもよかったです。

城戸さんが明るく介護されている話をしてくださった。私、反省しています。いやだいやだと思っていました。エンディングノート書きたいけど。。。。。。。

とてもよかったです。又、このような企画の時は来たいと思います。

何気なく誘われて来ましたが、私は99才の元気な母と暮らしています。弱っていく自分、73才です。主人81才です。今後3人の行方がとても心配です。

実践報告は、あまり参考にならなかった。対象を絞った方が良かった。

時間の取り方について。看取りの実践報告、余り参考にならなかった。話が長すぎでした。

友達にさそわれて、在宅介護など勉強になった。

城戸真亜子さんの講演がほほえましくて、たいへんよかったです。

私も来年で百才の義理の母の介護を日々手抜きをしながら進行中（認知症になって14年近く）。自分の息子も「どなたさんでしたか？」から始まる会話ですが、最後は、生活してきた家で看取りができれば、うれしいなあと考えています。

実際に体験された方のお話は、心に響くものがありました。今後の、参考にさせていただきます。

老親に対することばかけ、自分の受けとり方、とても参考になりました。

今後、介護しなければならない時がきた時、城戸真亜子さんのように、楽しみながらできたらと思えました。ありがとうございました。

良いお話を聞かせていただいて、今後の参考にさせていただきます。

少子高齢化がこれからますます進んでいく中で、在宅介護、在宅看取りが増え、問題も増えていくと思います。支援の事を知り、かかえこまずに色々な方に支えてもらい、利用させて頂きながら、介護される側も、する側も、よりよく生きていきたいと思います。

とても内容的によかったです。城戸さんのお話も、長い介護生活の中で、つらいことと思わず、楽しいことを見だし、前向きに生活をされていることが大切であることが、よくわかりました。古川さんの体験も心打つお話で、自分の時のこと考えて、参考にしたいと思います。ありがとうございました。

真亜子さんのお話は、心に響く内容が多くあり、思わず涙しました。介護をした事はありませんが、私が介護されるという立場になるのが、大変に嫌なのです。あまり弱い所を見せずに来ましたが、あまり素直になれずいます。

両親を在宅で介護しています。両親共現在は要介護1です。デイサービスのおかげさまで、私自身の時間を持つ事ができています事に感謝しています。これからが不安ですので、参考にさせていただきたく参加させていただきました。

術後に昏睡状態になり5か月になった父がいます。入院中です。父の意識状態はないと医師から言われていますが、日が経つにつれ、足が動いたり目があいたり、顔の表情筋が動くようになっていたりと変化しています。意識がもどって苦痛に感じたり、痛みを感じているのではと思うと……。つらいです。こういう患者様が少ないのか、家族の会が見つかりません。心のケアをしてもらいたいのですが…。

一般女性

私も先日父が急性心筋梗塞で亡くなりました。突然の事で家族も受け入れられない中、残された母が急に心配になった所、この今日のフォーラムを知り参加しました。今までいつかは……と思っていた事が身近になっている事と今後いろいろ勉強していかないといけないと、痛感しました。参加してよかったです。

城戸さんの体験や古川さんの体験が、これから私達にも、いつかは来るので、とてもよかったです。

明日は我が身、大変参考になりました。

実践報告のところまでで、帰宅。

途中参加、途中退場での形になりましたが、いい話が聞けて、来て良かったです。ありがとうございました。

実践報告で、病院での介護と在宅介護の制度的な違いとかの説明が不足で、よく分からないまま、いきなり細かな実例の話になり、枠組みなどの説明が欲しかったです。城戸真亜子さんのお話は、介護のあり方について考えさせられ大変参考になりました。介護に携わる者の心構えとか、介護される者とのかわり合いについて、大変参考になりました。

記念講演すごく良かったです。たんたんと話してくださる城戸様、すごく頭が下がります。主人も認知症・パーキンソン・鬱病との毎日ですが、がんばりたいと思います。すごく良い話、勉強に成りました。有りかありがとうございました。私も行く道考えたいと思います。

息子が背損で松葉杖生活です。作業所での仕事8年目ですが、賃金が時給150円の為自立できません。障害金と合わせても月9万円くらいの生活を余儀なくされています。何とか支援のしくみでできる様、考えていただきたいものです。両親の看取りはなかったですが、今後自分が老いていく中で、多少（今62才なので）心配です。もう部屋のいらないものの整理・友達づくりなど、考え実行していますが、城戸真亜子さんの話を聞いて、認知症の方の気持ちが手に取る様にわかり、なごまされました。ありがとうございました。また高齢化社会に向けて、いろんな企画をしてくださいネ。

今は認知症の母をホームに預けています。よくして下さっていますが、自分で見ていないという負い目があります。一緒に暮らしたいという気持ちはあるのですが、小学校の娘にまだまだ手がかかるので、踏み切れません。訪問看護や介護の方々の協力があれば、本当に在宅介護はできるのでしょうか…。

今日は、本当によいお話を聞かせていただき在宅看取り・在宅看護の良さを痛感しました。今自分が義母の最後を病院でした事を、凄く悪いことをした・申し訳ないと思っていますが、いざ自分が家で看取りをして欲しいと思っても、子どもがどうか等、色々思い、無理では…。

関係者 (男性)	<p>今、私はケアマネージャーとして、在宅の要介護のお客様と、関わらせてもらっています。私自身、身障2級の障害を持ち、同居している妻の母は、要介4。また、小学生の息子も発達障害をかかえているという中で、生活しています。看取りは生活の中で身近にある問題。 一期一会を大切に仕事・生活を輝かしたいと思います。</p>
	<p>在宅で看取るために、在宅です。在宅ですごした先に、看取りがあると考えます。最近、看取りたくないから、早い段階で在宅ですごすことをやめてしまう。それだけ不安や負担が分散できない。安定できないってことですね。私が頑張ります。</p>
	<p>老いるということ・老衰ということ→このことの意味が理解できない人、ことがが多いように思います。在宅介護を次世代につなげられると取り組みが必要だと思います。いまは、介護できなくてあたり前という感覚なので、できる体制・制度の充実が必要です。</p>
	<p>在宅看取り、介護について、自分のことに考えるきっかけとなった。</p>
	<p>今後、同居して介護また看取りができない独居老人が増えていく。家族としても同居できない理由が様々あるが、その独居老人の介護・看取りまで、同居していない家族が、どのようにすればよいのかなどの体験談やホローの仕組みなどを聞きたい。</p>

劇団の皆様、お疲れ様でした。知らない方にはエンディングノートが伝わりやすかったと思います。インパクトのある劇で分かりやすく、記憶に残る内容でした。

劇は大変分かりやすかったです。いろんな場所で啓発のため、実演してください。

城戸真亜子さんのお話はとても暖かく、苦労が多いと思う。介護を感謝の気持ちを持って、できるといいと思いました。

今が大切と改めて感じさせてもらう機会になりました。

記念講演、看取り劇場とてもよかったです。

関係者の方々の熱い思いを感じることでできる、フォーラムでした。人は最後を迎える時、医療と介護は必要不可欠なものです。

最後を「どこで」よりか「どのように」を大切に、医療福祉関係者として、仕事をしていきたいと思いません。

どのフォーラムも、とても判りやすくよかったです。劇もユーモア入り、楽しく見させて頂いた。

城戸さんのお話は、介護をする事に、とても重要なことを話して下さいました。認知症の事もしっかり話しておられ、気くばり・心くばり・目くばりが大切です。とても分かりやすく、よかったです。

家族の決断がとても大切ですね。訪問介護士さんに感謝、在宅看取りができた。

自分がどんな姿になっても、家族にめいわくをかけたくない。今の若い者は、なかなか認知症、親が老いていく姿が、理解できないと思う。最期まで「有難う」と言える様に頑張りたい。

記念講演では、城戸さんの明るく前向きにされる介護に驚きつつ、なるほどと考え方を改める事が出来ました。実践報告では、チームワークの大切さを痛感しました。

おつらい経験談をお話下さり、有難く思います。看取り劇場は、楽しかったです。

知事、お疲れ様でした。

介護は自分の立場に立ってみなければ分からない事ですね。

介護される人・する人の心境は計り知れない事と思います。

ありがとうございました。劇団の皆さんも、素晴らしかったです。

また、体験談も家族の思いをきくことができ、よかったです。

城戸さんの講演を聴いて、介護は大変だという一面ではなく、認知症や病気の家族との上手い付き合い方や、介護の喜びなど、心温まるお話が印象的でした。自分が将来直面するかもしれない、介護について、漠然と抱いていた不安が少し和らいた。

看取り劇場、非常に楽しませてもらい、わかりやすかったです。

内容が盛りだくさんで、楽しめた。在宅看取りの大切さがよくわかりました。

私も認知症の義母と暮らしております。先のことを思うと不安ですし、日々ストレスのたまることの連続です。今日の城戸真亜子さんの話を聞き、目からウロコが落ちるようでした。

こんなにも優しく、丁寧に、義母さんに接しておられて・・・

自分はいったいどうだろうと反省しています。介護されることを前向きにとらえて、日々感謝する気持ちを忘れない真亜子さんに頭が下がります。私も義母にもっと思いやりや感謝の気持ちを持って、これからまだまだ続く介護生活を前向きに過ごしていきたいと思いました。

ありのままの在宅看取りのお話をきかせていただきました。明日からの自分の生き方、家族の在り方、在宅介護について考えることができました。前向きに・・・生きていこうと。

自分ができる支援をやっていきたいです。

介護者の人の心の支援について、知りたいと思います。

介護や看取りを体験された方からの声は、支援する側として、今後の仕事の参考になったし、自分たちの仕事のやりがいにもつながって、とても良かった。

初めてこのようなフォーラムに参加した。今後、私達の生活で、起こりうる事なので、非常に参考になりました。

自分の体はある程度、自分で普段から努力しようとしています。（両親とも他界して、娘夫婦孫もいないので、自分を大切にしている。）

自分の事のように思う様です。

今一番関心のある議題だと思いますが、決断・実行・現実、なかなかむづかしい課題だと思います。認知症が増えこれから、どう向き合えばよいか、考えさせられます。

とっても、よかったです。